

試験科目名 「無責任四十二号」

試験時間 90分

注意事項

1. 受験票を確認し、受験科目が試験科目と一致しているかを確認してください。
2. 試験開始の指示があるまで問題を見てはいけません。
3. 試験の開始については試験官の指示に従ってください。
4. 試験官の指示したものを以外を机の上に置かないでください。
5. 回答は指定の用紙に記入し、氏名と学年を記載してください。
6. スマートフォン等の電子機器類の電源は切ってください。
7. その他試験官の指示に従ってください。
8. 正しい答えを追い求めないでください。
9. 詩や短歌に正解を求めないでください。
10. 現代を空想し、定義するあまりに詩や短歌の未来に責任を持たないでください。
11. ワレワレハウチュウジンデス

A、B、Cに適切な単語をあてはめよ（出題者 清水らくは）

Aの呪い

Aは進む 車輪をつけて 大きな道を 小さな橋を

Aは進む 翼を付けて 大きな空を 小さな星を

A以外使えない呪いにかかって

三年の月日が過ぎた

Aの中で寝て起きる

Aに乗って仕事に行く

そのうち不便を感じなくなって

A以外に必要なものがなくなった

父親はB以外食べられない呪いにかかってから
四年で死んだ

どこまで行けるだろう

Cは越えてしまったけれど

Aは進む

形を失っても

Aは進む

なまえ うきしま

A 猫 B 本 C 箱舟

なまえ C うきしま B 舟 A 箱舟

皮膚のうえ這いまわる虫まよなかのブランケットに絡む体液

(空想歌集『午前二時のライナス』より)

問・歌集の題である『午前二時のライナス』について、彼はなぜ失踪してしまったのかを考え、
答えなさい。(出題者 浮島)

氏名 清水らくは

ライナスが人工衛星コローンに住み始めたのは、彼が19歳の時だった。コローンは片側のみに居住区があり、その土地は常に太陽を向いていた。彼は幼い頃に大病により体を機械化しており、睡眠が必要なくなっていたのだ。コローンには、そのような人が多かった。

彼はコローンで、夢を追った。一日中、絵を描いていた。彼の五感の中で、機械の影響を受けていないのは視覚だけだった。だから彼は、見えているものを形に残したかったのだ。彼は絵を描き続け、25歳の時に倒れた。彼の瞳には、太陽が焼き付いていた。機械化された人々に彼の絵は人気だったが、彼自身は自分の絵が好きになれなまま、ライナスは病院のベッドで多くの管につながれて生きていた。

「面も機械化しなくなればいなくなりました」

ほぼ金属でできている医師が言った。ライナスは唇だけで喋った。その日の24時、ライナスは病院から姿を消した。自宅に戻ったライナスはバイクに乗り、走り出した。町を抜け、工場地区を抜け、行き止まりの柵を突き破って彼はコローンの裏側へと向かった。そこは、夜しかない土地だった。

コローンの裏側には、ほとんど何も作られていない。いくつかの電波塔がぼるはずだが、ライナスはそれを目撃しなかった。ライナスはしばらく走った後にバイクを下りて、その場に寝そべった。見上げると、そこには広大な闇と、星々。しかしライナスの目には太陽が焼き付いていたので、ほとんど星は見えなかった。ライナスは腹がきれいに見えるようにはるまで、夜空を眺めていようとと思った。そして、最後に一枚の絵、衛星の絵を描きたいと考えた。

結局ライナスが星を見られたのか、そして絵を描いたのか、そのことは誰も知らない。

ライナスは星を見た

(問題用紙の空白部分はメモなどご自由にお使いください)
(ひっそりと奥付をのせておきます)

無責任 四十二号

責任者 清水らくは

副責任者 浮島

配布先 <http://borderspoem.sesasa.net>

二〇一五年八月一日発行

使用フォント あくびと (あくび様) <http://pandachan.jp>

怨霧 (暗黒工房様) <http://www.ankokukoubou.com/font/>